



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一朶の目的を目指し」

第2284回 例会

2019-6-19

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 内山雄二郎 会員
- ◎四つのテスト 内山雄二郎 会員



ソングリーダー・四つのテスト 内山雄二郎会員



にはそれぞれ個性があったように記憶しています。鐘が割れんばかりに叩いて「ガーン」と鳴らしたのは飯田パスト会長です。性格そのままに元気よく点鐘したのは名畑パスト会長でした。優しくそっと鐘を叩かれたのは山村パスト会長です。高野パスト会長はニコニコして嬉しそうに点鐘されていた印象があります。亡くなられた吉野パスト会長は何か申し訳なさそうに軽く「チーン」と点鐘されていました。

点鐘の起源は、大航海時代（15世紀から17世紀前半）に遡ります。帆船時代の船乗りは4時間ごとの交代勤務で、30分ごとに点鐘し時間を知らせていたそうです。日本では時間を知らせるための鐘は、江戸時代「時の鐘」としてお城、お寺、町中で鐘が打たれていました。現在もその名を残し観光名所の一つになっている川越の「時の鐘」は有名です。

日本のロータリーの会合は点鐘で始まり、

「会長挨拶」

会長 林 康雄

例会場のこの大きな点鐘を叩けるのも今日で最後になりました。過去の会長さんの点鐘

点鐘で終わります。それは例会だけでなく、地区大会、IM、地区研修協議会など全て同じです。しかし、点鐘を鳴らすのは日本独特の習慣のようで、海外のロータリークラブでは例会で点鐘を鳴らすのは珍しい部類に入るようです。海外では点鐘の代わりに“Call to Order”（「ご静粛に願います」）の発言があって例会が始まったり、「お祈り」をしてから例会が始まる場所もあるようです。ところによっては何時始まって何時終わるのか、さっぱり分からない例会も珍しくないようです。アメリカでは点鐘を鳴らすクラブもありますが、裁判所の法廷やオークションの競りで見られる木槌で「コンコン」と机を叩く光景が多いそうです。それも開会や閉会の時に叩くのではなく、スピーチを始める前に注意を喚起するために使われているようです。

では、何故日本のロータリークラブでは、点鐘を鳴らすようになったのでしょうか。一説によると 1920 年頃、最初に東京ロータリークラブが使ったのが始まりで、あとは右へ倣えになったのではないかということです。それを裏付ける理由として新クラブが結成するとき、スポンサークラブなどが鐘を寄贈することが習慣としてあったようです。そのため、点鐘が日本の隅々まで広まっていったのではないのでしょうか。日本のロータリークラブが点鐘を愛用するのは「時は金なり」と言う言葉があるように、忙しい日本のロータリアンは時間厳守を望み、時を告げる目的の点鐘が、時間を守って開会・閉会をするためのものと理解すると点鐘の由来とも合致します。

では、何故会長が点鐘を鳴らすのでしょうか。点鐘を叩くのは会長のだけの特権になっています。会長が点鐘を忘れたら“罰金もの”だとも言われています。点鐘を鳴らすのは“The President of Rotary Club”の特権であると共に、例会を取り仕切る覚悟と責任をも

って「今から例会を始めさせていただきます」という意思表示でもあります。そこには、スポンサークラブや歴代会長への誓いと感謝の気持ちも込められていて、点鐘の音色はメンバーの襟を正す響きとなって例会場に木霊するのではないのでしょうか。

例会場での会長挨拶も今日で最後になりました。一年間に亘り長々と駄弁を続けてしまいましたが、会員の皆様が辛抱強く聞き続けてくださったことが励みになりました。感謝申し上げます。

「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖



1. 日本事務局よりドル紙幣による寄付の受け入れを 2019 年 6 月 30 日にて廃止する旨受信
2. 地区事務所より 2019～20 年度会員増強／公共イメージセミナー開催について受信
日時：7 月 14 日(日) 登録 12:30
場所：紫雲閣 (0493-21-2570)
3. 第 2 グループガバナー補佐より次年度会長・幹事会議事録及び報告書受信
4. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま Vol.231(19.6.13)受信
5. 朝霞地区福祉会よりみつばすみれ学園・すずらんの「夏祭り」の案内受信
日時：7 月 27 日(土)17:00～20:00
場所：複合施設園庭・園舎内 ※雨天決行
6. オペラ彩より後援の願い受信

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

「委員会報告」

- 志木 RC 創立 50 周年記念事業実行委員会
委員長 尾崎征男



志木 RC 創立 50 周年記念事業委員会報告

委員会発足以来 9 回に亘り打ち合わせ会議を開催してきました結果、これまで以下の事が決定しましたのでご報告します。

- ①創立 50 周年記念式典日
2022 年（令和 4 年）2 月 22 日（土曜日）
- ②志木駅東口広場に記念碑として「カップ像」を建立する
目的：志木市は江戸時代からカップの言い伝えがある。市内小学校・市役所の青銅製の天水桶カップ(9 体)、宝幢寺の大門カップ、なかでも、当会内田会員の努力により、これまで 25 体の河童の像が制作され市内各所に設置され（志木 RC 創立 35 周年記念事業でカップの愛称・マップ発行実施）志木市はカップの住む街として広く知れ渡っていること等から、志木の玄関口にはカップ像が相応しく。また、これまでの建立像の代表的性格をもち、そして、他地域から志木を訪れるお客様の待ち合わせ場所・市民の憩いの場所の「目印」となるような像の建立を目的とした。
○制作者は内田栄信会員に依頼する
- ③志木 RC 創立 10 周年記念時に市役所正面玄関に寄贈した「志木市市民憲章」の新庁舎への移設費用を負担する。
- ④実行委員に該当年度の会長清水和之会員を加える。

以上がこれまでに決定しました、ここにご報告します。

「クラブ協議会」

議長：林 康雄 会長



【クラブ奉仕委員会】

委員長 岩下正基



今年度、林会長はクラブの管理運営面での強化の目的で委員を配置して頂きました。全体的には各委員会活発に活動して頂き充実した一年になりましたが、委員会としての機能が十分に果たせなかった反省もあります。次年度委員会に引き継ぎたいと思います。

☆会員増強委員会 委員長 上原 実

今年度、会員の皆様に協力を頂きながら努力しましたが、残念ながら増強することができませんでした。クラブの活性化に増強は不可欠です。改めて次年度に期待するところです。

☆職業分類・会員選考委員会 委員長 綱島政雄

一年間増強の必要性を呼びかけてきましたが、残念ながらかかないませんでした。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

- 朝霞 RC (火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店
- 富士見 RC (金) 12:30~13:30 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧
事務局 048-466-3770
事務局 049-251-6596

2284-3◇
志木 RC 会報

☆公共イメージ委員会 委員長 上野剛彦

- ・志木クラブのホームページを5月1日に開設しました。
- ・マイロータリーの利用率を高めるため、例会時にお話をさせて頂きました。
- ・社会福祉協議会が行った「ぼく・わたしの未来デザインコンテスト」に協賛し、ロータリー賞を審査し表彰しました。
- ・各種奉仕活動時にロータリージャンパーの着用、T シャツ着用時にはポリオ撲滅に貢献していることで、公共イメージの向上に努めました。

☆R情報委員会 委員長 尾崎征男

今年度計画したR情報の年間目標は全てクリアできたと思います。

1. クラブの歴史について

- ①インターアクトの誕生、ローターアクトの誕生から廃止について
- ②川と街をきれいにする運動の経緯について
- ③みつばすみれ学園夏祭りの経緯について

2. 2570 地区の情報

3. 若い委員によるロータリー月間、体験的ロータリーの提供等

ロータリーの情報の提供に十分な時間を頂き、より掘り下げた紹介ができたと感じております。

☆雑誌委員会 委員長 清水和之

今年度、基本方針・事業計画に基づき進めて参りました。心残りは9月のロータリー月間を題材とした例会開催が実現できませんでした。次年度に期待するところです。

☆クラブ会報委員会 委員長 三上隆俊

「原稿の提出を」繰り返させていただいた一年、皆様のご協力と委員会メンバー、宮地さん、浅田さんのご尽力のおかげで一年間任務を全うさせていただくことができました。しかしながら、会員満足度調査からロータリ

ー情報量の提供不足を約1割の方が感じていること、クラブホームページの活用など、課題の見える一年でもありました。

☆プログラム委員会 委員長 宮原俊介

皆様のご協力のおかげで年度開始時の目標である月間テーマ・援助対象者、多世代に合わせた卓話者の選定に基づき、プログラムを達成することができました。本目標の達成度がクラブにどのような影響をもたらすかはわかりませんが、地域のリーダーとして実績のある皆様が卓話者を紹介することにより、例会がプレミアム化し、延いては志木RCのブランドイメージにつながるのではないかと考えます。今後の例会プログラムが更に充実発展することを期待しております。

☆出席向上委員会 委員長 高野邦夫

直近のデータでは地区全体の平均出席率が72%ですが、志木クラブの平均は約94%となっており、その高さは地区内でも注目されています。これも会員の皆様が例会及びクラブの事業に積極的に参加された結果としてこの数字になったのだと思います。委員会へのご協力を感謝いたします。

☆親睦活動委員会 委員長 影山和良

今年度会長のご意向もあり、例年に比して夜間例会・移動例会が増した企画を実行しました。年間を通しての活動を列記すると、

- ・鯉清での柳瀬川 RC との合同暑気払い例会(7/25)
- ・職業奉仕委員会と合同でのサントリー白州工場研修及びうかい鳥山での懇親会(9/26)
- ・ベルセゾンでの秋のイブニング・ミュージック例会(11/28)
- ・うみ道楽での新年会(1/30)
- ・香川市長を囲んでの懇親会(2/13)
- ・夫人、家族への感謝を込めての誕生日祝い(毎月)
- ・池袋シュラスコ料理店での年忘れ例会は、

会員増強の意味も込め広く参加を募り集いました(12/26)

- ・能登和倉温泉から輪島への親睦旅行では 14 名の参加を頂きました(5/22,23)
- ・最終例会はステーキ・スエヒロで開催予定です(6/26)

外に向けての親睦活動は、

- ・地区のチャリティゴルフコンペ(3/25)
- ・第 2 グループ親睦ゴルフコンペ(4/25)
- ・ライオンズクラブ・チャリティゴルフコンペ(6/7)
- ・商工会主催のチャリティゴルフコンペでは「希望の風」に寄付を頂く(6/3)

委員長になり、改めて志木クラブの会員の中に「会員育成プログラム」「クラブ愛」的な何か、間違いなく存在していることを感じました。委員会メンバーと宮地さんに「Special thanks」です。

☆小諸交流委員会 委員長 吉原 正

7月18日に小諸クラブ3役の表敬訪問を受け、8月1日に林会長以下委員会メンバーで納涼例会に参加しました。そして、11月14日に小諸クラブ創立55周年記念式典に、志木クラブより23名で参加しました。いつもながらあたたかい歓迎を受け、長きにわたる友好関係を改めて実感いたしました。次年度は姉妹クラブ締結45周年の節目の年です。次年度委員会との橋渡しができればと考えております。



【職業奉仕委員会】 委員長 古田征也



職業奉仕委員会では、事業計画の一つでもある職業奉仕月間に、香川市長を招き、2月13日にベルセゾンにて卓話をしていただきました。平成31年度重点事業についてというテーマで、まちづくり新35の実行計画という内容で、現在志木市が取り組んでいる事業をわかりやすく説明していただきました。合わせて新市庁舎建設事業についてもお話をさせていただきました。

また5月22・23日に開催された親睦旅行では、二日目の23日に、輪島塗の稲忠さんにて輪島塗についての説明やお話をいただきました。

今年一年、皆様のご協力により何とか無事に務め上げることが出来ました。ありがとうございました。

【社会奉仕委員会】 委員長 國分 学

基本方針にもあるように地域社会や公共のニーズを意識し、志木ロータリークラブとして地域に貢献できる社会奉仕活動にすべての会員が理解し協力をしていけるよう進めてまいります。そして活動を通して志木ロータリークラブの公共イメージを図ることができたと思います。

みつばすみれ学園・すずらん夏祭りへの参加協力(担当・田中)

担当の田中会員を中心に、林会長、國分と事前訪問等準備を行ったのですが、残念ながら台風の影響により中止となりました。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに!

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

- 朝霞キャロット RC (月) 19:00~20:00 シティ・イン北朝霞 3階ホール 事務局 048-470-6811
- 志木柳瀬川 RC (木) 19:00~20:00 ふれあいプラザ会議室(丸井8F) 事務局 080-8914-2008



志木市いろは子ども文化賞の協力 (担当・榎本)

9/11 の例会に志木市教育委員会学校教育課木村様をお招きして審査を行いました。同時にぼく・わたしの未来デザインコンテストの審査も行い、10/13 の表彰式には國分と上野副委員長が参加し、ロータリークラブ賞を会場にてお渡ししました。

川と街をきれいにする運動の参加協力 (担当・吉原)

昨年 10/28 晴天の下、参加者 28 名で行われました。今年は 5/11 たくさんの参加者で行われました。親子参加の西川、遠藤、西浦会員ご協力ありがとうございました。

ロータリーの森清掃活動・ハタザクラの維持補植 (担当・清水 (一))

3/20 に 31 名の参加で開催いたしました。

献血活動の参加協力 (担当・内山)

4/17 に 38 名の参加で開催いたしました。

マルイ隣の地下道の絵画設置について (担当・國分、田中、上野)

7 校 8 団体の小中学校に協力をいただき、絵画の設置をしました。3/27 のお披露目式には香川志木市長、柚木教育長をお招きし、志木中中西教諭、宗中加藤教諭、みつばすみれ学園小関理事長とたくさん子どもたちも参加してにぎやかに楽しく開催されました。

志木市コミュニティ協議会への協力

吉原会員に出向いただきました。

志木市観光協会への協力

國分にて出向しました。

【国際奉仕委員会】

委員長 塩野 章



7 月の会長アワーで国際奉仕委員会にたいして活動の指針がありました。地区国際奉仕部門事業への協力と参加。日本で働く外国人のスピーチコンテスト。「ロータリーの友」英語版の読書会などがありました。実現しませんでした。ガバナー公式訪問では国際平和への活動と推進。世界でよいことをするをさらに推し進める。ポリオ撲滅を完全に成し遂げる。国際支援（パラオ共和国）を通じて、たとえ小さな国でも日本に目を向けてくれる国々と関係を強化する。日本人としての誇りと自信を持つにはどうしたら良いか？若者たちを育成し次の時代を託すことをロータリー活動の目的の一つとする。

地区の活動では

2018 年 8 月 26 日国際奉仕部門セミナーへ参加。(於・東松山 紫雲閣)

2019 年 1 月 13 日豪州青年訪問団ウエルカムパーティへ参加 (於・川越 ラ・ボア・ラクテ)

初めての国際奉仕委員長でしたが、以上の



ことが主な活動でした。林会長の当初の思いに
 応えられたかどうか、クラブ内での活動は
 反省するところがありますが、会長をはじめ
 多くの会員の皆様にご協力を賜り、一年間楽
 しいロータリー活動ができましたことを感謝
 し御礼申し上げます。

【青少年奉仕委員会】 委員長 田中幸彦



○インターアクト、ライラ事業

2月11日、ウェスタ川越で行われた地区主
 催による青少年指導者育成プログラム・ライ
 ラデーに参加をしました。これはIAC次期指
 導者講習会も兼ねています。開催テーマは「国
 際社会におけるリーダーとは」で、米山記念
 奨学生、ローテックスの方が留学経験等の講
 演をされ、その後ワークショップが開かれグ
 ループディスカッションが行なわれました。
 参加者は留学生、学生、ロータリアン等合計
 147名が参加され、志木クラブからは地区委
 員の國分会員、西浦会員、林会長、岩下会員、
 吉原会員、田中が参加しました。

○志木市青少年育成市民会議に参加

加盟団体として、2月16日に行なわれた青
 少年非行防止講演会、5月24日の総会に参加
 をしました。講演会ではNPO法人地域教育
 ネットワーク代表理事笠松直美様の「元気に
 育つ志木っ子条例」の演題で、子ども達のネッ
 ト環境によるトラブル、マイナス面、地域住
 民の責務と支援の講演をされました。又、総
 会の後には朝霞警察署員の方の講演も行なわ
 れました。

○いろは通学合宿実行委員会への支援

1月の例会において、助成金を支給させて
 頂きました。又、卓話では、委員会会長の石
 井真由佳様にいろは通学合宿の報告として、
 概要、意義、参加した子ども達について等の
 話をして頂きました。今年度は2月21日～
 23日に行なわれ、当日、送り迎え等協力をし
 て頂いた会員の皆様にお礼申し上げます。

○ロータリー希望の風奨学金

クラブの寄付金合計額は、先週の6月12日
 の例会までに、96万5千円皆様に頂きまし
 た。皆様にはご協力大変有難うございました。

【研修リーダー】 研修リーダー 星野博之



前期では、「創立50周年記念事業を考える」
 という議題でのワークショップを開くことが
 できましたが、後期で計画していた「新入会
 員オリエンテーション」は、新入会員がいな
 かったため、実行できませんでした。

次年度は、新入会員を増やせるような活動
 を行っていきたいと考えます。



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか



●出席報告 出席向上委員長 高野邦夫

会員数43名 出席義務者35名 免除者8名

本日出席	本日欠席	本日出席率
36名	3名	90.00%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(6名中3名)	90.24%	94.21%